

### 3 結婚と家庭生活について

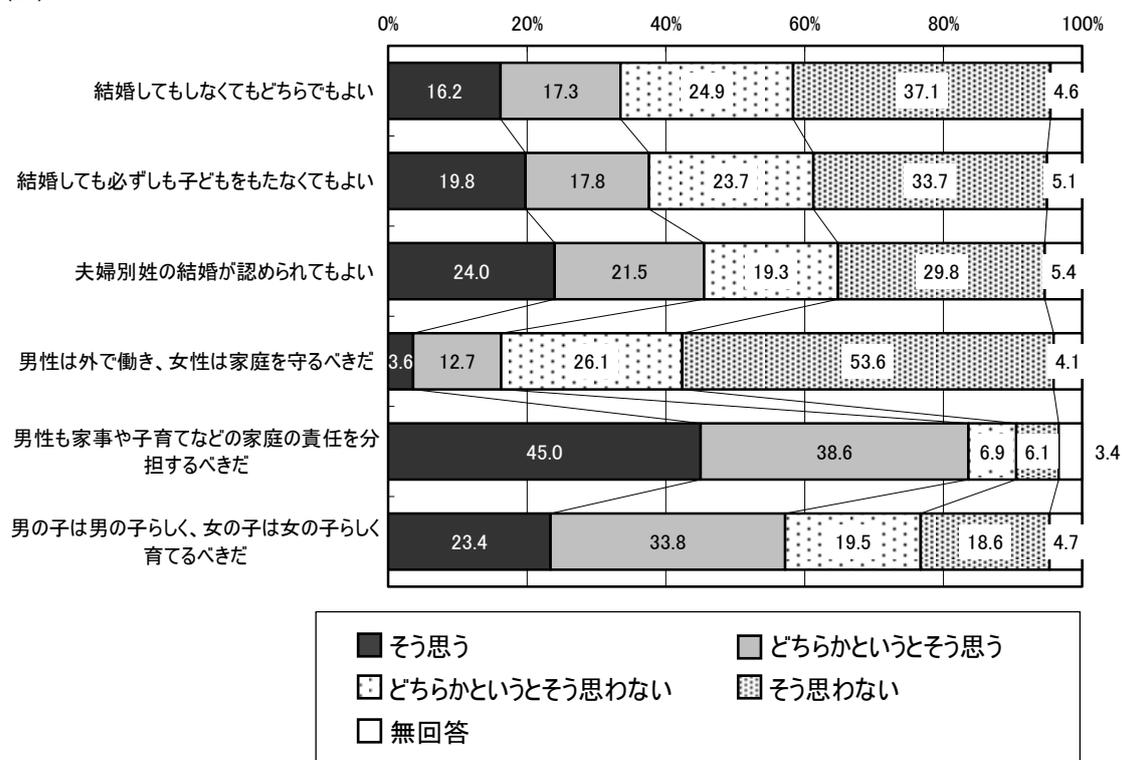
#### 問3 結婚、家庭生活に対する考え方についておうかがいします。(SA)

「そう思う」・「どちらかというと思う」が高い項目は、“男性も家事や子育てなどの家庭の責任を分担するべきだ”が83.6%、“男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるべきだ”が57.2%となっています。

「そう思わない」・「どちらかというと思わない」が高い項目は、“男性は外で働き、女性は家庭を守るべきだ”が79.7%、“結婚してもしなくてもどちらでもよい”が62.0%、“結婚しても必ずしも子どもをもたなくてもよい”が57.4%となっています。

“夫婦別姓の結婚が認められてもよい”は概ね半々となっています。

(SA) N=591

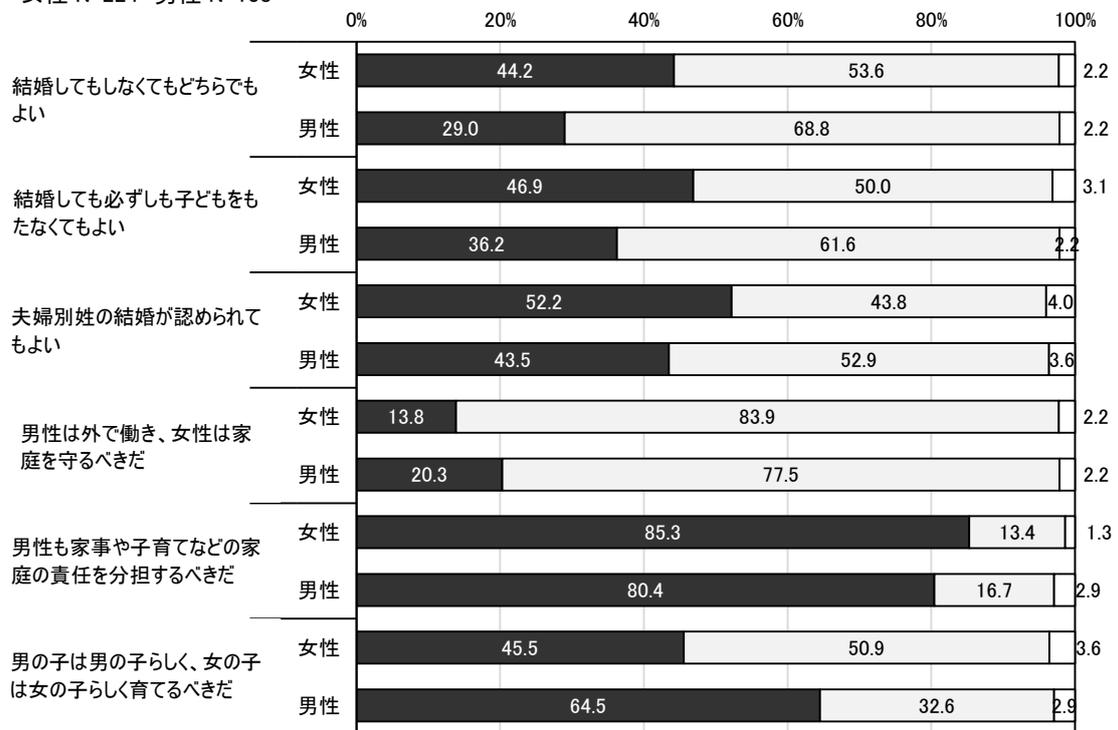


<「問1-1 性別」とのクロス集計>

“女性”では“結婚してもしなくてもどちらでもよい”、“結婚しても必ずしも子どもをもたなくてもよい”、“夫婦別姓の結婚が認められてもよい”、“男性も家事や子育てなどの家庭の責任を分担するべきだ”の「そう思う・どちらかというと思う」の割合が“男性”と比べて高くなっています。

“男性”では“男性は外で働き、女性は家庭を守るべきだ”、“男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるべきだ”の割合が“女性”と比べて高くなっています。

女性 N=224 男性 N=138



■ そう思う・どちらかというと思う □ そう思わない・どちらかというと思わない □ 無回答

<「問1-2 年齢」と「結婚してもしなくてもどちらでもよい」のクロス集計>

若年層ほど「そう思う・どちらかというと思う」の割合が高く、50歳代以降の高年齢層では「そう思わない・どちらかというと思わない」の割合が高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	そう思う・ どちらかという と思う	そう思わない・ どちらかという と思わない	無回答
10歳代	10 100.0	7 70.0	3 30.0	-
20歳代	44 100.0	24 54.5	20 45.5	-
30歳代	81 100.0	47 58.0	34 42.0	-
40歳代	71 100.0	38 53.5	32 45.1	1 1.4
50歳代	117 100.0	28 23.9	87 74.4	2 1.7
60歳代	141 100.0	37 26.2	99 70.2	5 3.5
70歳以上	119 100.0	14 11.8	90 75.6	15 12.6

<「問1-2 年齢」と「結婚しても必ずしも子どもをもたなくてもよい」のクロス集計>

若年層ほど「そう思う・どちらかというと思う」の割合が高く、50歳代以降の高年齢層では「そう思わない・どちらかというと思わない」の割合が高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	そう思う・ どちらかという と思う	そう思わない・ どちらかという と思わない	無回答
10歳代	10 100.0	8 80.0	2 20.0	-
20歳代	44 100.0	27 61.4	17 38.6	-
30歳代	81 100.0	53 65.4	28 34.6	-
40歳代	71 100.0	39 54.9	31 43.7	1 1.4
50歳代	117 100.0	39 33.3	76 65.0	2 1.7
60歳代	141 100.0	38 27.0	98 69.5	5 3.5
70歳以上	119 100.0	14 11.8	87 73.1	18 15.1

<「問1-2 年齢」と「夫婦別姓の結婚が認められてもよい」のクロス集計>

“20歳代”、“30歳代”の「そう思う・どちらかというと思う」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。60歳代以降では「そう思わない・どちらかというと思わない」の割合が高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	そう思う・ どちらかという と思う	そう思わない・ どちらかという と思わない	無回答
10歳代	10 100.0	4 40.0	6 60.0	-
20歳代	44 100.0	34 77.3	10 22.7	-
30歳代	81 100.0	55 67.9	26 32.1	-
40歳代	71 100.0	35 49.3	35 49.3	1 1.4
50歳代	117 100.0	58 49.6	56 47.9	3 2.6
60歳代	141 100.0	52 36.9	82 58.2	7 5.0
70歳以上	119 100.0	28 23.5	74 62.2	17 14.3

<「問1-2 年齢」と「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきだ」のクロス集計>

すべての年齢層において「そう思わない・どちらかというと思わない」の割合が高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	そう思う・ どちらかという と思う	そう思わない・ どちらかという と思わない	無回答
10歳代	10 100.0	2 20.0	8 80.0	-
20歳代	44 100.0	4 9.1	40 90.9	-
30歳代	81 100.0	13 16.0	68 84.0	-
40歳代	71 100.0	9 12.7	61 85.9	1 1.4
50歳代	117 100.0	18 15.4	99 84.6	-
60歳代	141 100.0	25 17.7	112 79.4	4 2.8
70歳以上	119 100.0	24 20.2	79 66.4	16 13.4

<「問1-2 年齢」と「男性も家事や子育てなどの家庭の責任を分担すべきだ」のクロス集計>

すべての年齢層において「そう思う・どちらかというと思う」の割合が高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	そう思う・ どちらかという と思う	そう思わない・ どちらかという そう思わない	無回答
10歳代	10 100.0	10 100.0	- -	- -
20歳代	44 100.0	41 93.2	3 6.8	- -
30歳代	81 100.0	71 87.7	10 12.3	- -
40歳代	71 100.0	60 84.5	10 14.1	1 1.4
50歳代	117 100.0	102 87.2	13 11.1	2 1.7
60歳代	141 100.0	120 85.1	19 13.5	2 1.4
70歳以上	119 100.0	86 72.3	22 18.5	11 9.2

<「問1-2 年齢」と「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるべきだ」のクロス集計>

“10歳代”、“20歳代”では「そう思わない・どちらかというと思わない」の割合が高く、30歳代では概ね同程度、40歳代以降では「そう思う・どちらかというと思う」の割合が高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	そう思う・ どちらかという と思う	そう思わない・ どちらかという そう思わない	無回答
10歳代	10 100.0	2 20.0	8 80.0	- -
20歳代	44 100.0	10 22.7	32 72.7	2 4.5
30歳代	81 100.0	41 50.6	40 49.4	- -
40歳代	71 100.0	40 56.3	29 40.8	2 2.8
50歳代	117 100.0	68 58.1	46 39.3	3 2.6
60歳代	141 100.0	98 69.5	40 28.4	3 2.1
70歳以上	119 100.0	77 64.7	28 23.5	14 11.8

**【他調査との比較 「結婚してもしなくてもどちらでもよい」】**

過去調査と比べて「そう思う」、「どちらかというと思う」の割合が増加しています。

(% )	今回調査(H28年)	H23年調査	H18年調査
	N=591	N=627	N=521
そう思う	 16.2	 12.0	 8.6
どちらかというと思う	 17.3	 14.5	 13.2
どちらかというと思わない	 24.9	 22.3	 21.5
そう思わない	 37.1	 49.9	 52.2
無回答	 4.6	 1.3	 4.4

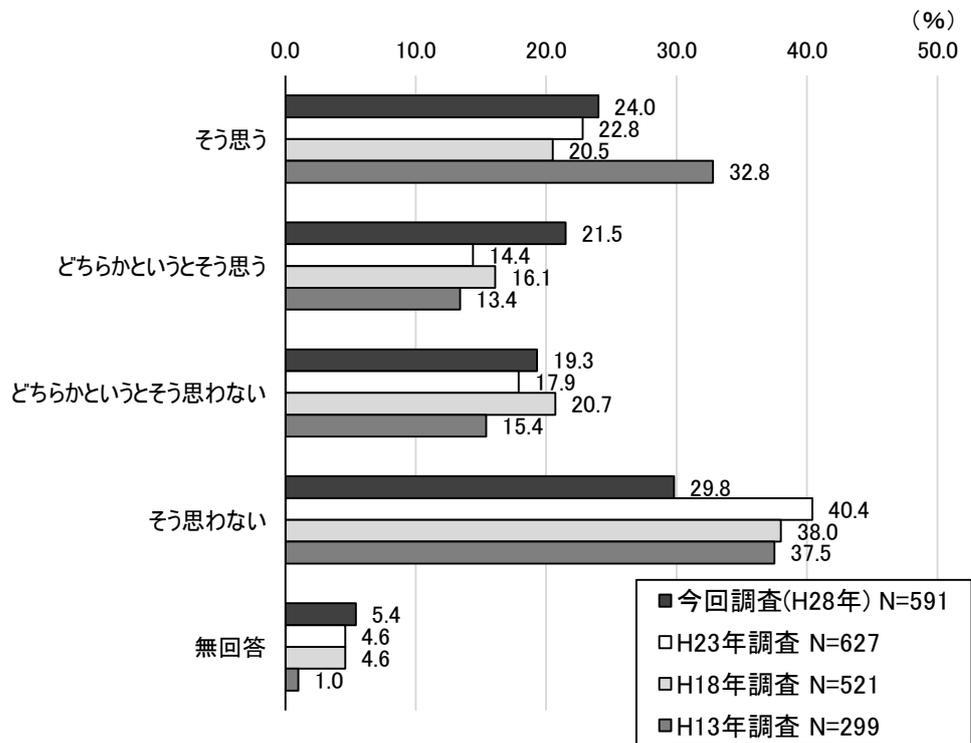
**【他調査との比較 「結婚しても必ずしも子どもをもたなくてもよい」】**

過去調査と比べて「そう思う」、「どちらかというと思う」の割合が増加しています。

(% )	今回調査(H28年)	H23年調査	H18年調査
	N=591	N=627	N=521
そう思う	 19.8	 11.5	 9.0
どちらかというと思う	 17.8	 14.4	 9.8
どちらかというと思わない	 23.7	 23.4	 21.7
そう思わない	 33.7	 49.6	 54.9
無回答	 5.1	 1.1	 4.6

【他調査との比較 「夫婦別姓の結婚が認められてもよい」】

過去調査と比べて「そう思わない」の割合が低くなり、「どちらかというと思う」の割合が高くなっています。「そう思う」の割合は H13 年調査と比べて低いものの、H18 年以降は微増しています。



【他調査との比較 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきだ」】

過去調査と比べて「そう思わない」、「どちらかというと思わない」の割合が増加しています。

回答	今回調査(H28年)	H23年調査	H18年調査
	N=591 (%)	N=627 (%)	N=521 (%)
そう思う	3.6	8.3	7.9
どちらかというと思う	12.7	20.3	24.4
どちらかというと思わない	26.1	21.2	16.9
そう思わない	53.6	45.9	46.4
無回答	4.1	4.3	4.4

【他調査との比較 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきだ」の  
男女別のクロス集計】

過去調査と比べて男女ともに「そう思わない」、「どちらかというと思わない」の割合が高くなっています。

(% )	今回調査(H28年)		H23年調査	
	女性 N=224	男性 N=138	女性 N=331	男性 N=238
そう思う	1.8	5.1	6.0	10.1
どちらかというと思おう	12.0	15.2	19.9	19.7
どちらかというと思わない	23.6	30.4	20.2	22.7
そう思わない	60.3	47.1	48.9	45.0
無回答	2.2	2.2	4.8	2.5

**【他調査との比較 「男性も家事や子育てなどの家庭の責任を分担すべきだ」】**

過去調査と比べて「そう思う」の割合が微減し、「そう思わない」の割合が微増しています。

（％）	今回調査(H28年)	H23年調査	H18年調査
	N=591	N=627	N=521
そう思う	45.0	46.4	48.2
どちらかというと思う	38.6	38.4	38.4
どちらかというと思わない	6.9	8.1	7.1
そう思わない	6.1	3.3	2.9
無回答	3.4	3.7	3.5

**【他調査との比較 「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるべきだ」】**

過去調査と比べて「そう思う」の割合が低くなり、「どちらかというと思わない」の割合が増加しています。

（％）	今回調査(H28年)	H23年調査
	N=591	N=627
そう思う	23.4	32.5
どちらかというと思う	33.8	33.5
どちらかというと思わない	19.5	12.4
そう思わない	18.6	17.4
無回答	4.7	4.1

問1-4で「1. 既婚（事実婚を含む）」と回答した方を対象とした設問

### 問4 あなたの家庭では、それぞれの仕事を夫婦のうち、どなたが主に担当されていますか？（SA）

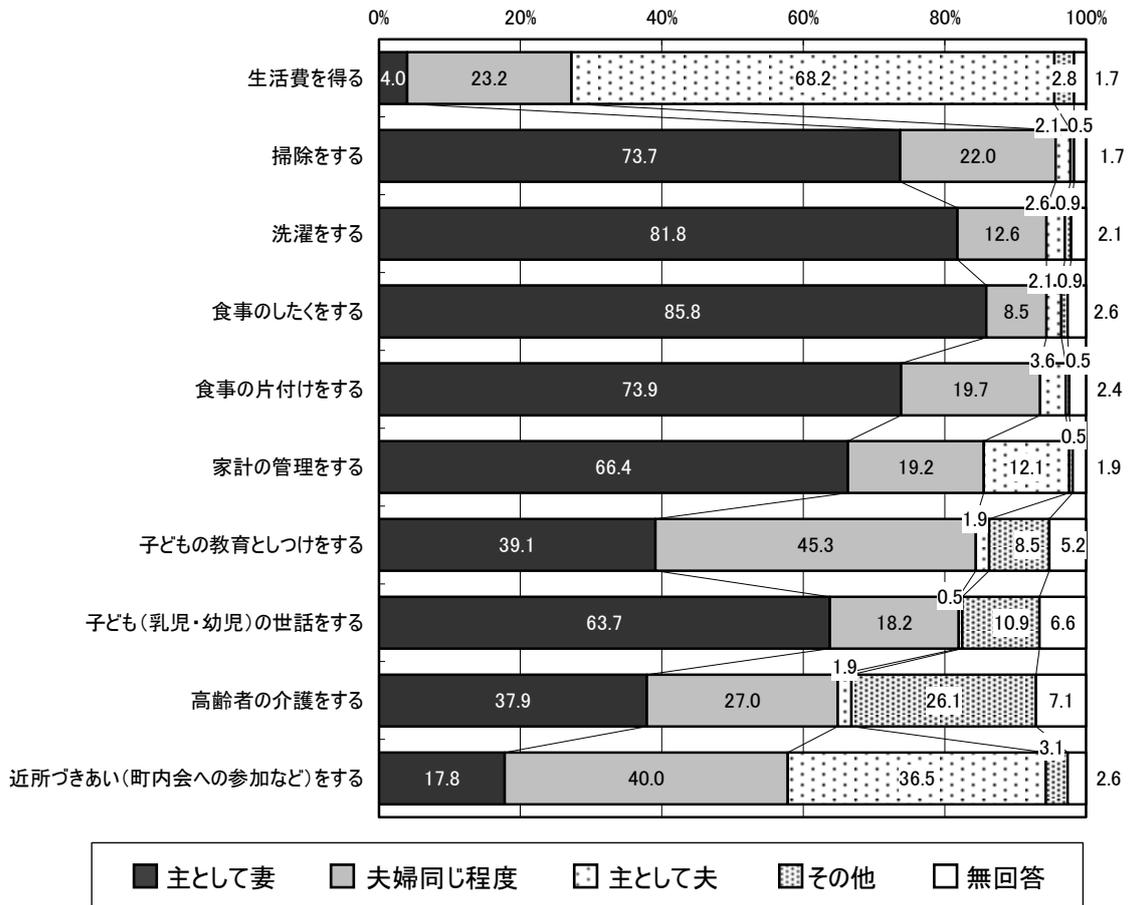
【「食事の片付けをする」はH28年調査新規設問】

「主として妻」が高い項目は、“食事のしたくをする”が85.8%、“洗濯をする”が81.8%、“食事の片付けをする”が73.9%、“掃除をする”が73.7%、“家計の管理をする”が66.4%、“子ども（乳児・幼児）の世話ををする”が63.7%と過半数を占めています。

「主として夫」が高い項目は“生活費を得る”が68.2%となっています。

「夫婦同じ程度」が高い項目は“子どもの教育としつけをする”が45.3%、“近所づきあい（町内会への参加など）をする”が40.0%となっています。

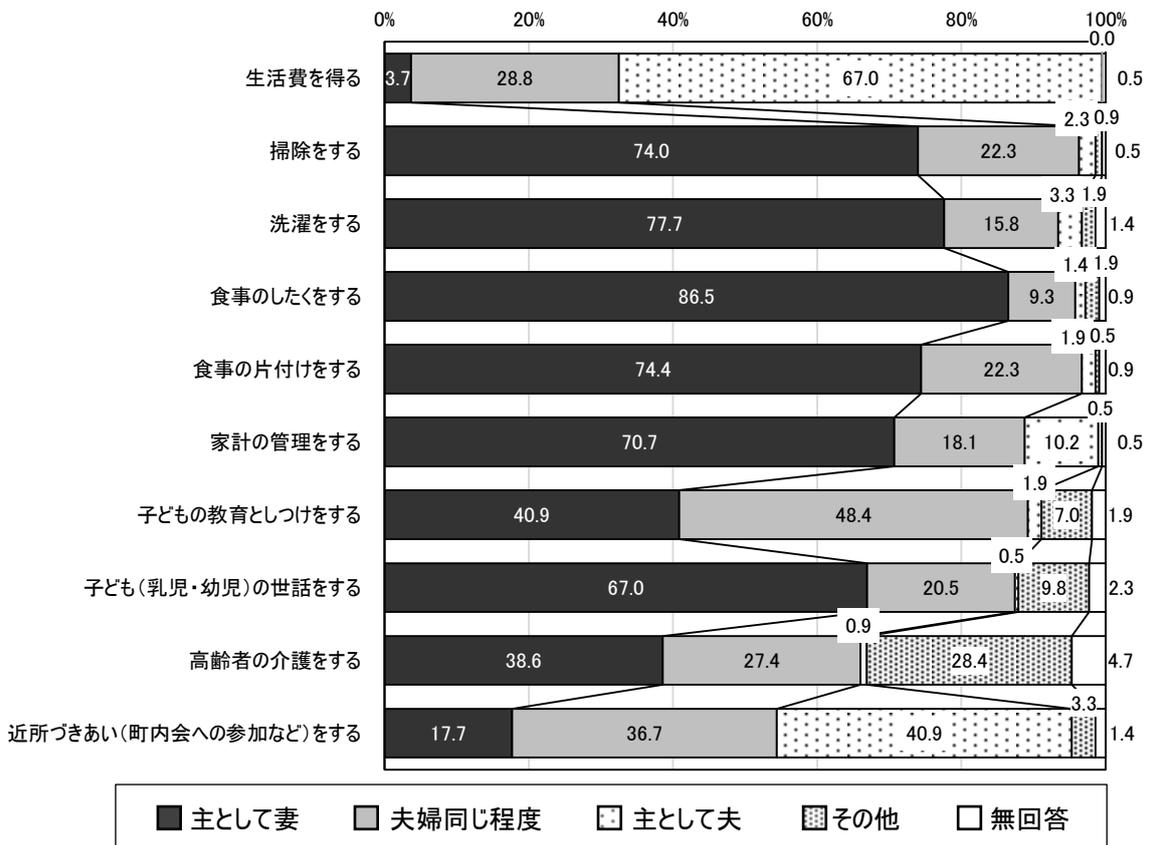
（SA）N=422



＜「問1-4-2 就労状況で「共働きである」と回答した方」とのクロス集計＞

“共働きである”家庭においても、全体の傾向と同様に「主として妻」の割合が高い項目が多い傾向にあります。

共働きである N=215



【他調査との比較 「生活費を得る」】

H18年調査と比べて「夫婦同じ程度」の割合が増加していますが、H23年調査と比べると同程度の割合となっています。

(%)	今回調査(H28年)	H23年調査	H18年調査
	N=422	N=441	N=378
主として妻	4.0	4.1	5.0
夫婦同じ程度	23.2	23.6	18.8
主として夫	68.2	66.0	70.6
その他	2.8	2.7	2.9
無回答	1.7	3.6	2.6

【「生活費を得る」の主なその他回答】

内容	類似回答数
年金	9
共働き	1
今は無職	1
年金と家賃	1

【他調査との比較 「掃除をする」】

H23年調査と比べると「夫婦同じ程度」の割合が微増しています。

（%）	今回調査(H28年)	H23年調査
	N=422	N=441
主として妻	73.7	73.9
夫婦同じ程度	22.0	19.0
主として夫	2.1	3.2
その他	0.5	1.1
無回答	1.7	2.7

【「掃除をする」の主なその他回答】

内容	類似回答数
妻、子ども	1
母	1
出来る人。男女関係なし	1
娘	1

### 【他調査との比較 「洗濯をする」】

H23年調査と比べると「主として妻」の割合が微減し、「夫婦同じ程度」の割合が微増しています。

（%）	今回調査(H28年)	H23年調査
	N=422	N=441
主として妻	81.8	85.3
夫婦同じ程度	12.6	8.2
主として夫	2.6	2.9
その他	0.9	1.1
無回答	2.1	2.5

### 【「洗濯をする」の主なその他回答】

内容	類似回答数
妻と子ども	2
母	1
出来る人。男女関係なし	1
娘	1

### 【他調査との比較 「食事のしたくをする」】

過去調査と比べると「主として妻」の割合が微減しています。

（%）	今回調査(H28年)	H23年調査	H18年調査
	N=422	N=441	N=378
主として妻	85.8	87.3	88.9
夫婦同じ程度	8.5	7.3	5.8
主として夫	2.1	1.6	0.3
その他	0.9	1.4	1.3
無回答	2.6	2.5	3.7

【「食事のしたくをする」の主なその他回答】

内容	類似回答数
母	2
共同で	1
姑	1
出来る人。男女関係なし	1
娘	1

【「食事の片付けをする」の主なその他回答】

内容	類似回答数
妻の母。いない時は夫	1
娘	1

【他調査との比較 「家計の管理をする」】

H18年調査と比べると「主として妻」の割合が微減し、「夫婦同じ程度」の割合が微増しています。

(% )	今回調査(H28年)	H23年調査	H18年調査
	N=422	N=441	N=378
主として妻	66.4	64.4	70.9
夫婦同じ程度	19.2	19.5	14.8
主として夫	12.1	10.2	10.1
その他	0.5	1.4	0.5
無回答	1.9	4.5	3.7

【「家計の管理をする」の主なその他回答】

内容	類似回答数
夫婦別々	1

### 【他調査との比較 「子どもの教育としつけをする」】

過去調査と比べると「主として妻」の割合が増加しています。

(% )	今回調査(H28年)	H23年調査	H18年調査
	N=422	N=441	N=378
主として妻	39.1	36.5	32.5
夫婦同じ程度	45.3	44.7	49.5
主として夫	1.9	2.9	1.3
その他	8.5	8.4	9.0
無回答	5.2	7.5	7.7

### 【「子どもの教育としつけをする」の主なその他回答】

内容	類似回答数
子どもがいない	12
該当者なし	5
成人している	4
夫婦二人暮らし	3
していない	1
家族みんな	1
妻	1
別居	1
娘婿	1

### 【他調査との比較 「子ども（乳児・幼児）の世話をする」】

H23年調査と比べると「主として妻」の割合が増加しています。

(% )	今回調査(H28年)	H23年調査	H18年調査
	N=422	N=441	N=378
主として妻	63.7	58.3	62.4
夫婦同じ程度	18.2	19.7	15.3
主として夫	0.5	0.7	0.3
その他	10.9	10.2	11.9
無回答	6.6	11.1	10.1

【「子ども（乳児・幼児）の世話をする」の主なその他回答】

内容	類似回答数
子どもがいない	23
該当者なし	5
夫婦二人暮らし	2
別居	2
成人している	2
していない	1
家族みんな	1
義父母	1
妻	1
出来る人	1
親がすべき	1
無理	1

【他調査との比較 「高齢者の介護をする」】

過去調査と比べると「夫婦同じ程度」の割合が微増しています。H18年調査と比べて「主として妻」の割合が低くなっているものの、H23年調査と比べると割合が高くなっています。

（%）	今回調査(H28年)	H23年調査	H18年調査
	N=422	N=441	N=378
主として妻	37.9	34.9	42.3
夫婦同じ程度	27.0	24.9	24.6
主として夫	1.9	0.9	1.3
その他	26.1	26.3	21.2
無回答	7.1	12.9	10.6

【「高齢者の介護をする」の主なその他回答】

内容	類似回答数
いない	28
介護なし	8
まだ必要ない	6
該当者なし	5
していない	5
施設入所	2
高齢者である	2
妻の親	2
夫婦二人暮らし	2

内容	類似回答数
わからない	2
してもらっている	1
子どもなし	1
実家は妻	1
出来る人	1
別居	1
老老介護	1

### 【他調査との比較 「近所づきあい（町内会への参加など）をする」】

過去調査と比べると「主として妻」の割合が低くなり、「主として夫」の割合が増加しています。

（%）	今回調査(H28年)	H23年調査	H18年調査
	N=422	N=441	N=378
主として妻	17.8	20.4	26.2
夫婦同じ程度	40.0	40.6	59.8
主として夫	36.5	32.0	9.0
その他	3.1	3.4	1.3
無回答	2.6	3.6	3.7

### 【「近所づきあい（町内会への参加など）をする」の主なその他回答】

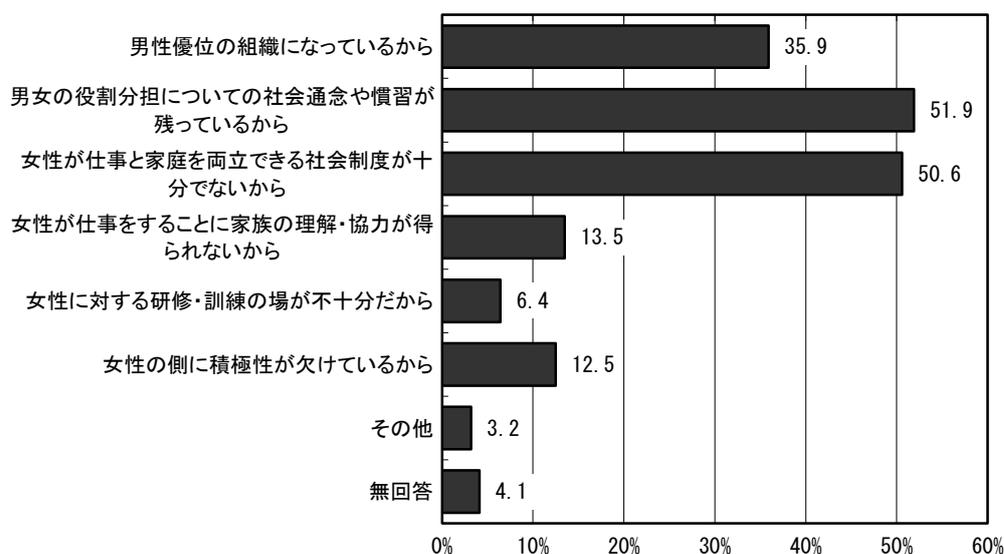
内容	類似回答数
していない	4
妻の両親	1
子供がしている	1
出来る人	1
必要ないため	1

## 4 女性の参画について

### 問5 職場において、企画や方針決定の場に女性が少ないという現状が多くみられますが、その理由はどこにあると思いますか？ (MA)

「男女の役割分担についての社会通念や慣習が残っているから」が51.9%、「女性が仕事と家庭を両立できる社会制度が十分でないから」が50.6%で高くなっています。次いで「男性優位の組織になっているから」が35.9%で続いています。

(MA) N=591



#### <「問1-1 性別」とのクロス集計>

“女性”では「女性が仕事と家庭を両立できる社会制度が十分でないから」の割合が“男性”と比べて高く、“男性”では「男女の役割分担についての社会通念や慣習が残っているから」の割合が“女性”と比べて高くなっています。

	合計	男性優位の組織になっているから	男女の役割分担についての社会通念や慣習が残っているから	女性が仕事と家庭を両立できる社会制度が十分でないから	女性が仕事することに家族の理解・協力が得られないから	女性に対する研修・訓練の場が不十分だから	女性の側に積極性が欠けているから	その他	無回答
上段:度数	224	79	109	132	44	10	21	7	4
下段:%	100.0	35.3	48.7	58.9	19.6	4.5	9.4	3.1	1.8
女性	138	53	84	63	8	3	14	5	8
男性	100.0	38.4	60.9	45.7	5.8	2.2	10.1	3.6	5.8

### 【他調査との比較】

過去調査と比べて「男女の役割分担についての社会通念や慣習が残っているから」、「女性が仕事と家庭を両立できる社会制度が十分でないから」、「女性が仕事することに家族の理解・協力が得られないから」の割合が高くなっています。

一方、「男性優位の組織になっているから」の割合は低くなっています。

(% )	今回調査(H28年)	H23年調査	H18年調査
	N=591	N=627	N=521
男性優位の組織になっているから	35.9	38.0	41.3
男女の役割分担についての社会通念や慣習が残っているから	51.9	44.5	43.6
女性が仕事と家庭を両立できる社会制度が十分でないから	50.6	44.7	42.8
女性が仕事することに家族の理解・協力が得られないから	13.5	6.9	8.8
女性に対する研修・訓練の場が不十分だから	6.4	8.8	9.6
女性の側に積極性が欠けているから	12.5	13.2	15.0
その他	3.2	4.9	3.3
無回答	4.1	5.4	7.1

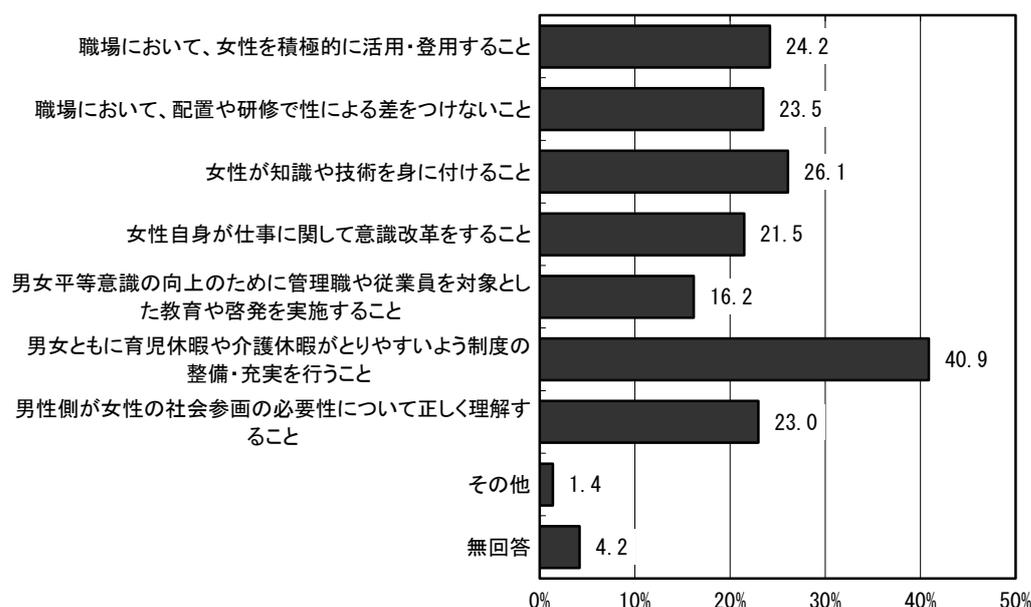
### 【主なその他回答】

内容	類似回答数
そんなことはない	2
男女問わず人材の問題と思う	2
男性に比べて技量と意識が低く、総合的な判断力が欠けていると思うから	2
よく分からない	1
企画や方針決定の場の年代に女性が少ないから	1
考え方の違い	1
女性が少ないから	1
女性が職場うんぬんよりも家庭を守り、子どもや人間の人格を育てる大仕事に女性にはあるのではないか。今の世の中の現状を見たらわかる。人を育てることを忘れていている人が多い	1
女性の感覚、意見の価値観に対する理解が低い	1
女性の社員が少ない	1
女性は育児にかかわる時間が大きい	1
女性は感情的判断が男性に比べて多い	1
職種によるが男性の責任感が強いと思う。女性目線の大切な職種(環境面)がある	1
男女平等とは言え、やはり男は男、女は女、同じようには出来ないと思う	1
妊娠中に立ち仕事とかマタハラが多い(女性も)	1

## 問6 職場での女性の地位向上のためには、どのようなことに努力しなければならないと思いますか？(MA)

「男女ともに育児休暇や介護休暇がとりやすいよう制度の整備・充実を行うこと」が40.9%で最も高くなっています。次いで「女性が知識や技術を身に付けること」が26.1%、「職場において、女性を積極的に活用・登用すること」が24.2%で続いています。

(MA) N=591



### <「問1-1 性別」とのクロス集計>

“女性”は「男女ともに育児休暇や介護休暇がとりやすいよう制度の整備・充実を行うこと」の割合が“男性”と比べて高くなっています。

	合計	職場において、女性を積極的に活用・登用すること	職場において、配置や研修で性による差をつけないこと	女性が知識や技術を身に付けること	女性自身が仕事に関して意識改革をすること	男女平等意識の向上のために管理職や従業員を対象とした教育や啓発を実施すること	男女ともに育児休暇や介護休暇がとりやすいよう制度の整備・充実を行うこと	男性側が女性の社会参画の必要性について正しく理解すること	その他	無回答
上段:度数	224	40	54	55	42	43	104	53	5	3
下段:%	100.0	17.9	24.1	24.6	18.8	19.2	46.4	23.7	2.2	1.3
女性	138	38	41	36	31	17	44	32	1	8
男性	100.0	27.5	29.7	26.1	22.5	12.3	31.9	23.2	0.7	5.8

### 【他調査との比較】

H23年調査と比べて「女性自身が仕事に関して意識改革をすること」の割合が低くなり、「男女ともに育児休暇や介護休暇がとりやすいよう制度の整備・充実を行うこと」の割合が高くなっています。

（％）	今回調査(H28年)	H23年調査	H18年調査
	N=591	N=627	N=521
職場において、女性を積極的に活用・登用すること	24.2	28.5	30.1
職場において、配置や研修で性による差をつけないこと	23.5	26.3	21.3
女性が知識や技術を身に付けること	26.1	27.8	28.2
女性自身が仕事に関して意識改革をすること	21.5	33.3	29.8
男女平等意識の向上のために管理職や従業員を対象とした教育や啓発を実施すること	16.2	17.2	15.2
男女ともに育児休暇や介護休暇がとりやすいよう制度の整備・充実を行うこと	40.9	31.9	38.8
男性側が女性の社会参画の必要性について正しく理解すること【H28年新規項目】	23.0		
その他	1.4	1.1	1.2
無回答	4.2	6.4	8.3

### 【主なその他回答】

内容	類似回答数
そもそも性差を意識しすぎている	1
なぜ女性の地位向上を求めるのか。地位向上ばかり求めて偉そうな人が多くなっていないか。男女平等とはどんなものさしで言っているのか。それぞれの特質があり、平等になることはないと思う	1
以前私は女性問題の勉強をしてきたので大体のことは理解している	1
私はもう終わったこと	1
女性がみな地位向上したいと思っている人ばかりではないと思う	1
女性でも男性でもその仕事にあった能力があってその仕事をこなせるなら別に女性の地位向上とか関係ない	1
上司が理解のある人間であること	1